



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名	西川ゴム工業株式会社	上場取引所	東
コード番号	5161	URL	http://www.nishikawa-rbr.co.jp/
代表者	(役職名)代表取締役社長 (氏名)福岡 美朝		
問合せ先責任者	(役職名)取締役管理本部長 (氏名)休石 佳司	(TEL)	(082) 237-9371
定時株主総会開催予定日	2020年6月25日	配当支払開始予定日	2020年6月26日
有価証券報告書提出予定日	2020年6月26日		
決算補足説明資料作成の有無	: 無		
決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	97,267	△1.2	6,848	△11.3	7,489	△11.5	4,486	△8.7
2019年3月期	98,435	2.3	7,724	△9.4	8,465	△11.3	4,915	95.1
(注) 包括利益	2020年3月期		△840百万円 (—%)		2019年3月期		△2,059百万円 (—%)	

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益		自己資本当期純利益率		総資産経常利益率		売上高営業利益率	
	円	銭	円	銭	%		%		%	
2020年3月期	229	15	—	—	7.2		7.0		7.0	
2019年3月期	251	04	—	—	7.5		7.3		7.8	
(参考) 持分法投資損益	2020年3月期		109百万円		2019年3月期		75百万円			

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	103,843		66,001		59.0		3,128.97	
2019年3月期	110,591		68,293		57.8		3,262.57	
(参考) 自己資本	2020年3月期		61,260百万円		2019年3月期		63,876百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
2020年3月期	10,446		△6,540		△852		25,288	
2019年3月期	6,560		△8,440		△915		22,167	

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭		円 銭	円 銭	円 銭			
2019年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00	822	16.7	1.2
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	783	17.5	1.3
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 2円00銭

(注) 2 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点未定であります。業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により、本決算短信発表時点で2021年3月期の業績予想を合理的に算定することが困難であります。今後予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	19,995,387株	2019年3月期	19,995,387株
② 期末自己株式数	2020年3月期	416,955株	2019年3月期	416,955株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	19,578,432株	2019年3月期	19,578,524株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	48,828	△3.7	2,218	△20.5	5,133	△20.0	4,069	△16.5
2019年3月期	50,693	6.4	2,790	△7.6	6,419	△1.9	4,871	454.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	207.84	—
2019年3月期	248.80	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	70,661		45,363		64.2	2,317.02		
2019年3月期	79,572		48,247		60.6	2,464.30		

(参考) 自己資本 2020年3月期 45,363百万円 2019年3月期 48,247百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2020年3月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
(1) 役員の変動	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、年度前半を中心に設備投資の増加や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続いたものの、後半は、消費増税による個人消費の低下と、米国を中心とする通商問題の動向や、中国経済の先行き懸念、英国におけるEU離脱問題の行方など、海外における政治の動向や経済の不確実性等に加え、年明け以降の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大が世界経済に及ぼす懸念も日に日に高まりを見せており、今後の先行きには予断を許さない状況となっております。

自動車業界におきましては、国内自動車生産台数は減少傾向に推移したほか、海外自動車生産台数においても、北米、中国、東南アジアのすべてにおいて、また海外全体としても前期比で減少しました。

このような状況の中、当連結会計年度における売上高は97,267百万円（前期比1.2%減）となりました。利益につきましては、営業利益は6,848百万円（前期比11.3%減）、経常利益は7,489百万円（前期比11.5%減）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は4,486百万円（前期比8.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

自動車生産台数が前年比で減少した結果、売上高は53,095百万円（前期比3.7%減）となりました。また、営業利益は減価償却費の増加などにより2,927百万円（前期比22.1%減）となりました。

（北米）

米国、メキシコともに自動車生産台数が前年比で減少した結果、売上高は26,610百万円（前期比1.6%減）となりました。また、営業損失は36百万円（前期営業利益343百万円）となりました。

（東アジア）

自動車生産台数は前年比で減少しましたが、中国での当社の受注車種の生産台数が好調に推移したことにより、売上高は13,576百万円（前期比7.2%増）となりました。また、営業利益は合理化活動および当第4四半期より本格稼働した湖北西川密封系統有限公司の操業効果などにより、1,214百万円（前期比43.6%増）となりました。

（東南アジア）

自動車生産台数は前年比で減少しましたが、当社の受注車種の生産台数が好調に推移したことにより、売上高は11,419百万円（前期比5.5%増）となりました。また、営業利益は3,155百万円（前期比7.4%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産は、前連結会計年度末に比べ、6,748百万円減少し、103,843百万円となりました。主な減少は投資有価証券などです。

負債は、前連結会計年度末に比べ、4,456百万円減少し、37,841百万円となりました。主な減少は未払金などです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、2,291百万円減少し、66,001百万円となりました。主な減少はその他有価証券評価差額金などです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,121百万円増加し、25,288百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得られた資金は、主として前年度発生した訴訟和解金や退職給付に係る掛け金の支払いが減少したことなどにより、10,446百万円（前年同期に得られた資金は6,560百万円）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は、主として定期預金の預入れによる支出や有形固定資産の取得による支出などにより、6,540百万円（前年同期に使用した資金は8,440百万円）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は、長期借入れによる収入があったものの、配当金の支払い額などにより、852百万円（前年同期に使用した資金は915百万円）となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響は世界的に拡大し、いまだ終息の目処が立たない状況にあります。当社グループにおきましても、現時点では業績に与える不確定要素が大きく、連結業績予想を合理的に算定することが困難と判断いたしました。従いまして、2021年3月期の連結業績予想につきましては未定とさせていただきます、業績予想の開示が可能となった時点で適宜公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づいて連結財務諸表を作成しております。

なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,973	30,958
受取手形及び売掛金	16,079	13,722
電子記録債権	2,463	2,191
有価証券	500	500
製品	2,763	2,616
仕掛品	827	951
原材料及び貯蔵品	1,909	2,172
未収還付法人税等	75	22
その他	2,267	1,377
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	54,855	54,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,048	25,802
減価償却累計額	△16,099	△16,892
建物及び構築物（純額）	8,949	8,910
機械装置及び運搬具	51,676	52,356
減価償却累計額	△40,062	△41,221
機械装置及び運搬具（純額）	11,614	11,135
工具、器具及び備品	19,234	20,677
減価償却累計額	△16,866	△17,765
工具、器具及び備品（純額）	2,368	2,911
土地	4,521	4,554
建設仮勘定	3,079	4,035
その他	—	1,282
減価償却累計額	—	△313
その他（純額）	—	968
有形固定資産合計	30,531	32,514
無形固定資産		
借地権	316	316
その他	652	1,000
無形固定資産合計	969	1,317
投資その他の資産		
投資有価証券	23,318	14,298
長期貸付金	17	16
繰延税金資産	521	693
退職給付に係る資産	—	24
その他	381	474
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	24,235	15,503
固定資産合計	55,736	49,335
資産合計	110,591	103,843

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,741	9,109
短期借入金	4,757	11,253
未払法人税等	512	539
賞与引当金	1,135	1,067
製品保証引当金	46	22
訴訟損失引当金	475	-
未払金	4,015	3,705
その他	4,695	4,099
流動負債合計	25,379	29,797
固定負債		
長期借入金	7,002	1,390
繰延税金負債	4,593	2,638
退職給付に係る負債	700	694
役員退職慰労引当金	41	30
長期末払金	4,132	2,183
資産除去債務	360	366
その他	86	741
固定負債合計	16,918	8,044
負債合計	42,298	37,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,364	3,364
資本剰余金	3,527	3,527
利益剰余金	45,839	49,504
自己株式	△424	△424
株主資本合計	52,308	55,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,221	5,082
為替換算調整勘定	1,567	1,638
退職給付に係る調整累計額	△1,221	△1,433
その他の包括利益累計額合計	11,567	5,287
非支配株主持分	4,417	4,741
純資産合計	68,293	66,001
負債純資産合計	110,591	103,843

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	98,435	97,267
売上原価	78,328	78,500
売上総利益	20,106	18,767
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	4,250	4,288
給料及び賞与	2,911	2,961
製品保証引当金繰入額	31	△6
賞与引当金繰入額	130	119
役員退職慰労引当金繰入額	4	3
退職給付費用	72	67
福利厚生費	801	819
租税公課	357	330
減価償却費	330	367
研究開発費	533	480
その他	2,957	2,486
販売費及び一般管理費合計	12,381	11,918
営業利益	7,724	6,848
営業外収益		
受取利息	143	152
受取配当金	633	652
持分法による投資利益	75	109
為替差益	-	4
その他	279	317
営業外収益合計	1,132	1,235
営業外費用		
支払利息	115	171
固定資産除却損	53	76
為替差損	117	-
外国付加価値税等	-	237
その他	104	109
営業外費用合計	391	594
経常利益	8,465	7,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益		
受取保険金	59	-
投資有価証券売却益	-	151
特別利益合計	59	151
特別損失		
固定資産除却損	11	4
投資有価証券評価損	-	1
訴訟損失引当金繰入額	475	-
災害による損失	68	-
特別損失合計	554	6
税金等調整前当期純利益	7,970	7,634
法人税、住民税及び事業税	1,409	1,711
法人税等調整額	800	576
法人税等合計	2,210	2,287
当期純利益	5,759	5,346
非支配株主に帰属する当期純利益	844	860
親会社株主に帰属する当期純利益	4,915	4,486

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	5,759	5,346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,373	△6,139
為替換算調整勘定	△416	237
退職給付に係る調整額	△14	△212
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	△72
その他の包括利益合計	△7,819	△6,187
包括利益	△2,059	△840
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△2,946	△1,793
非支配株主に係る包括利益	886	953

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,364	3,660	41,668	△423	48,270
当期変動額					
剰余金の配当			△743		△743
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,915		4,915
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社の増資による 持分の増減		△132			△132
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△132	4,171	△0	4,038
当期末残高	3,364	3,527	45,839	△424	52,308

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	18,595	2,040	△1,206	19,429	3,986	71,685
当期変動額						
剰余金の配当						△743
親会社株主に帰属する 当期純利益						4,915
自己株式の取得						△0
連結子会社の増資による 持分の増減						△132
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△7,373	△473	△14	△7,861	431	△7,430
当期変動額合計	△7,373	△473	△14	△7,861	431	△3,392
当期末残高	11,221	1,567	△1,221	11,567	4,417	68,293

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,364	3,527	45,839	△424	52,308
当期変動額					
剰余金の配当			△822		△822
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,486		4,486
自己株式の取得					-
連結子会社の増資による 持分の増減					-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	3,664	-	3,664
当期末残高	3,364	3,527	49,504	△424	55,972

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	11,221	1,567	△1,221	11,567	4,417	68,293
当期変動額						
剰余金の配当						△822
親会社株主に帰属する 当期純利益						4,486
自己株式の取得						-
連結子会社の増資による 持分の増減						-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△6,139	71	△212	△6,279	323	△5,956
当期変動額合計	△6,139	71	△212	△6,279	323	△2,291
当期末残高	5,082	1,638	△1,433	5,287	4,741	66,001

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,970	7,634
減価償却費	5,424	6,020
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,639	△10
受取利息及び受取配当金	△777	△804
支払利息	115	171
為替差損益 (△は益)	△126	△97
持分法による投資損益 (△は益)	△75	△109
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△151
固定資産除却損	64	81
固定資産売却損益 (△は益)	9	22
災害損失	68	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△405	2,592
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△754	△246
仕入債務の増減額 (△は減少)	464	△603
その他	1,616	△1,145
小計	11,955	13,353
利息及び配当金の受取額	822	821
利息の支払額	△112	△170
独占禁止法関連支払額	△1,978	△1,939
訴訟和解金の支払額	△3,212	-
災害損失の支払額	△68	-
法人税等の支払額	△1,421	△1,694
法人税等の還付額	575	75
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,560	10,446
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11,274	△10,612
定期預金の払戻による収入	9,901	11,125
有形固定資産の取得による支出	△7,079	△7,091
有形固定資産の売却による収入	36	130
無形固定資産の取得による支出	△216	△534
投資有価証券の取得による支出	△48	△51
投資有価証券の売却による収入	-	491
貸付けによる支出	△3	△7
貸付金の回収による収入	8	8
保険積立金の解約による収入	234	-
その他	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,440	△6,540

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	210	329
長期借入れによる収入	2,288	987
長期借入金の返済による支出	△1,974	△444
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△742	△822
非支配株主への配当金の支払額	△589	△629
リース債務の返済による支出	△107	△272
財務活動によるキャッシュ・フロー	△915	△852
現金及び現金同等物に係る換算差額	△367	67
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,162	3,121
現金及び現金同等物の期首残高	25,329	22,167
現金及び現金同等物の期末残高	22,167	25,288

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当連結会計年度より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置としてみとめられている、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当連結会計年度末の有形固定資産の「その他(純額)」が966百万円増加し、無形固定資産の「その他」が123百万円減少しております。また、流動負債の「その他」が210百万円増加し、固定負債の「その他」が640百万円増加しております。当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの各拠点においては、主に自動車用部品を生産・販売しており、その地域性を重視した戦略を立案し、事業活動を展開しているため、報告セグメントを地域別の「日本」、「北米」、「東アジア」および「東南アジア」としております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成方法と同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	日本	北米	東アジア	東南アジア	計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	49,159	26,994	11,705	10,575	98,435	—	98,435
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,991	45	953	252	7,242	△7,242	—
計	55,150	27,040	12,659	10,827	105,678	△7,242	98,435
セグメント利益	3,758	343	845	2,939	7,886	△162	7,724
セグメント資産	86,061	15,271	13,756	13,459	128,549	△17,957	110,591
その他の項目							
減価償却費	3,137	1,311	496	479	5,424	—	5,424
持分法適用会社への投資額	875	—	—	—	875	—	875
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	4,115	1,817	1,360	519	7,813	—	7,813

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2)セグメント資産の調整額は、セグメント間の債権債務消去等であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

また、セグメント資産は、連結貸借対照表の総資産と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	日本	北米	東アジア	東南アジア	計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	47,816	26,587	11,675	11,187	97,267	—	97,267
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,278	22	1,901	231	7,433	△7,433	—
計	53,095	26,610	13,576	11,419	104,701	△7,433	97,267
セグメント利益又は損失(△)	2,927	△36	1,214	3,155	7,260	△412	6,848
セグメント資産	76,885	16,132	14,232	13,667	120,917	△17,074	103,843
その他の項目							
減価償却費	3,384	1,407	708	519	6,020	—	6,020
持分法適用会社への投資額	895	—	—	—	895	—	895
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	4,176	2,222	1,680	1,102	9,182	—	9,182

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2)セグメント資産の調整額は、セグメント間の債権債務消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

また、セグメント資産は、連結貸借対照表の総資産と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	3,262.57円	3,128.97円
1株当たり当期純利益金額	251.04円	229.15円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,915	4,486
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	4,915	4,486
普通株式の期中平均株式数(株)	19,578,524	19,578,432

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	68,293	66,001
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	4,417	4,741
(うち非支配株主持分(百万円))	(4,417)	(4,741)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	63,876	61,260
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	19,578,432	19,578,432

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

役員の変動につきましては、本日開示の「人事変動に関するお知らせ」をご参照ください。